慢性肺アスペルギルス症診療に関する患者さんの情報の研究利用についてのお知らせ

この度、国立病院機構茨城東病院薬剤部を責任機関とした「慢性肺アスペルギルス症におけるイサブコナゾールの忍容性に関する検討」を行うことになりました。

本研究は、慢性肺アスペルギルス症（以下、CPA）治療におけるイサブコナゾール（商品名；クレセンバ®）の忍容性について検討し、今後の CPA 診療に役立てることを目的としています。

この研究のため、2019 年 1 月 1 日から 2025 年 9 月 30 日までに治療を開始した方について、2026 年 3 月 31 日までの期間の診療録、検査データ等の調査を行います。対象となるのは CPA 診療でイサブコナゾール（クレセンバ®）もしくはボリコナゾール（ブイフェンド®）で治療を行った方で、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（身長、体重、主病名、処方歴、副作用、検査値など）のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは、個人を特定できないよう加工後、本研究の代表であります国立病院機構茨城東病院薬剤部に厳重に管理されます。今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2026 年 10 月　　研究責任者

国立病院機構茨城東病院　薬剤部

成田　和希

連絡先　029-282-1151(代表)